



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2022年(令和4年)3月5日号 No.1885

## 目次

■ <b>対口経済制裁の現状とその影響</b> .....	長谷 直哉 1
■ <b>統計速報</b> .....	13
2022年1月の日本の対ロシア・NIS諸国輸出入通関実績 / 12	
2022年1月の日口貿易 / 13	
■ <b>トピックス</b> .....	15
NEXIがロシア貿易保険引き受けに事前確認盛る / 15	
岸田首相が漁業支援を明言 / 15	
ロシアの危険情報が引き上げに / 15	
サハリン1やサハリン2を巡る経済界の発言 / 15	
ウクライナ情勢の海運や空運への影響 / 16	
ウクライナ侵攻が博多明太子にも余波 / 16	
メーカーの供給網が露領空規制で混乱 / 17	

## 対口経済制裁の現状とその影響

ロシアNIS経済研究所 主任研究員  
長谷 直哉

### はじめに

本稿では、2月24日のロシアによるウクライナ侵攻開始後に、日米欧が導入した対口経済制裁、また世界各国の企業によるロシアビジネス撤退の動きについて、以下整理・分析し、ご紹介する。また、ロシア経済との関係が深い、中央アジア・コーカサス諸国への影響についても補論として末尾に掲載した。

この一週間強で非常に大きな動きが多数あり、長文とならざるを得なかったところ、次頁目次を頼りに、必要な情報を確認いただければと考える。また、今般の対口経済制裁について、特に米欧のその内容は実際には、報道されているものよりも広く、厳しい措置であることに注意願いたい(可能な限り、原文を確認されることを推奨したい)。ビジネス実務という観点からずれば、「広大な地雷原」が出来上がっているとも形容することもできる状態で、ロシアビジネスのリスクは尋常ではなく跳ね上がったと言えるだろう。